

有機性廃棄物のリサイクルを促進する 「日田市バイオマス資源化センター」

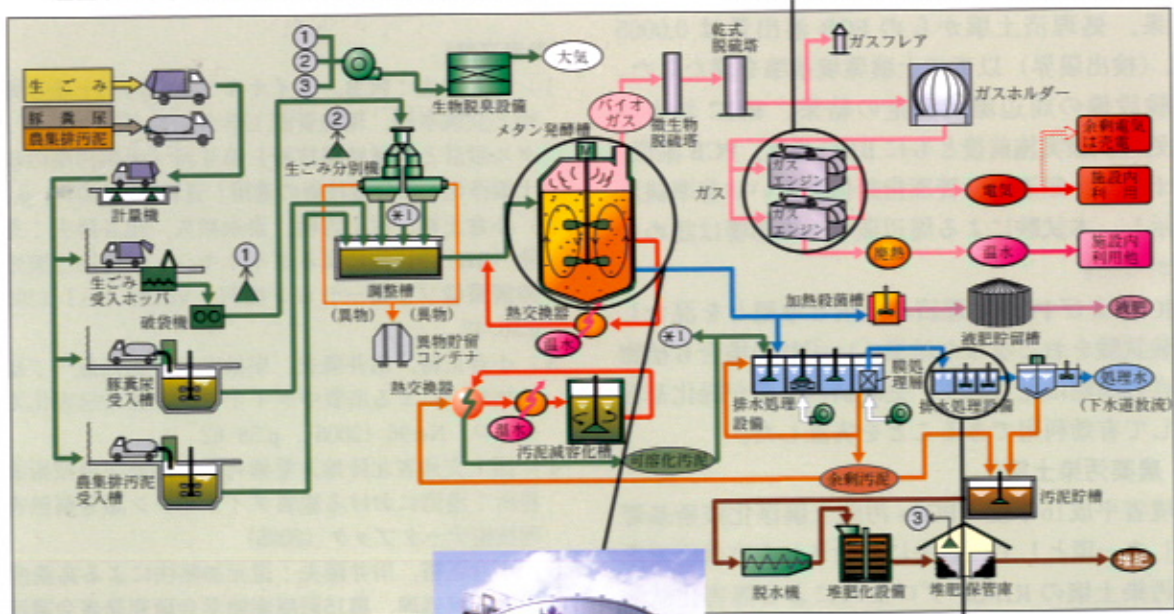
日田市バイオマス資源化センターは、豚糞尿（50 t/d）、生ごみ（24 t/d）、農業集落排水汚泥（6 t/d）の3種のバイオマス（合計80 t/d）を国内最大級（1900 m³）のメタン発酵槽でガス化し、エネルギーの形で再資源化する設備として、2006年4月より運転を開始しました。メタン発酵液の後処理にエステプロセスを組み込むことで、発生する余剰汚泥量を大幅に減量化することができます。メタン発酵液の一部を液肥に、余剰汚泥を堆肥化して農地還元することで、有機性廃棄物の包括的なリサイクルを実現します。



日田市バイオマス資源化センター全景（15452 m²）



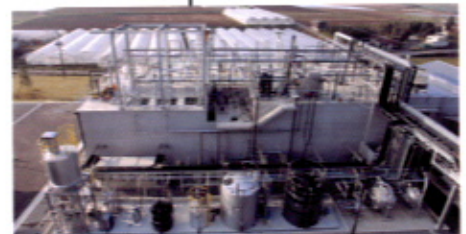
バイオガス利用設備 ガスエンジン（170 kW×2基）



原料受入・管理棟



メタン発酵槽（1900 m³）



排水処理設備（硝化・脱窒・脱リン・S-TE）